

熊本地学会誌

Journal of the Kumamoto Geoscience Association

No. 171



目 次

「研究」 八代地域の下部白亜系アンモナイト	1-30
村上 浩二	
「速報」 益城町に大きな被害を与えた断層とは	31-33
田村 実・森下吉郎	
「行事報告」 平成 27 年度第 3 回巡検会「熊本地下水について」報告	34
江川 佳貴	
会務報告	35

熊本地学会
Kumamoto Geoscience Association
2017.2.15

表紙写真

2016年熊本地震の地表地震断層の例

2016年4月16日の地震（本震）によって現れた地表地震断層（益城町と御船町の境界）。標識の下に右横ずれの断層が確認できる。この付近は日奈久断層帯の高野一白旗区間として活断層の存在が示されていた地域である。4月14日の前震の震央に近いところだが、前震ではこの表層地震断層は生じなかった。この地域には断層崖に囲まれた地溝状の地形が発達しており、御船町高木地区から牛ヶ瀬地区にかけて右横ずれの地表地震断層が点々と現れている。2016年5月27日撮影。

（写真・解説：池上直樹）